

OIS

大阪府インテリア設計士協会

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-6-14
TEL. 06-6262-1488 FAX. 06-6262-1553URL <http://jp-interior.or.jp/ois>
blog <http://oisblog.exblog.jp>
E-mail ois@jp-interior.or.jp会員数402人 2009年2月3日現在)
(1級75人/2級313人/会員9人/特別会員5人)
賛助会員10社

編集スタッフ

田原・石渡・広畑・河原・仲田
奥田・岡崎あけまして
おめでとう
ございます
No.78葉知利書
はしりがき

大阪天満宮で

年頭に思うこと



副会長 南野江以子

時代が変わりつつあるのか、ただそう見えるだけなのか、よく分からないニュースを毎日のようにマスコミが報じています。こんな時だからこそ自分自身を見失わないよう、現実をしっかり捉える力が必要かと思われまます。

何気なく日常交わしているたった一言の挨拶でさえ、人の心にも自分の心にも温かさを憶えさせてくれるのも、こんな時代だからかもしれません。

インテリアを提案していく上においても、お客様のご希望が十分かなえられるよう、優しい気持ちで努力することが大切だと思えます。そして完成したインテリア空間で、心地よくお過ごしただきた

いものです。知識や技術以外の何かを、私たちインテリア設計士に求められることが多くなってきたのかもしれない。

またこれから、仕事だけでなく、いろいろな困難がやって来ると思われます。ただどんな時もまずスマイルで、そして逃げないで、一人で解決できないことは助けてもらって、そのためにも人と人とのつながりの第一歩、たった一言の挨拶から始めてはいかがでしょうか。

私は優しい気持ちで「今年もどうぞよろしくお祈りします」と年の初めにご挨拶を申し上げます。



開運祈願初詣新年会

2009.1.11(日)/於・豊国神社

OISの2009年は、今年も(02年から)豊国神社からスタートしました。私は初参加でしたが、冷気がキーンと張りつめた本殿での、お祓い、祝詞奏上、OIS代表・宮後会長の玉串奉奠と続く神事は厳かで神々しく、このような雰囲気新年をスタートできるとは…!! とても感動しまし

た。さらなる良き一年へ祈願する参拝の後は、記念撮影、参集殿での新年会へと続きます。

恒例なのでしょうけれど、お料理やお酒を美味しくいただきながら、皆さんの会話が弾むのがとても印象的でした。今年の福引きの方法はちょっと工夫されており、並べられたヨーヨーに向かって、順次、ダーツの矢を投げて割り、中から出てきた当たりくじにあわせた景品をいただけるというゲームでしたが、とても可愛いヨーヨーに懐かしさを感じ、つい子供のように頑張ってしまうました!! 癒される楽しいゲームはとっても大切です!! 改めて、これほど温かい協会にはほかにないと感じ、どんな行事でも参加しなければ何事も学べないということも感じました。2009年のOISは積極的な皆様の参加により、楽しく素晴らしい一年になりますよう…一心同体で盛り上げましょうね!!!(記・広畑 直子)



↑ 矢を投げる、広畑さん



日本の空間デザイン展2008 & USD-Oフォーラム

昨年12月13日から19日の1週間、大阪南港ATCの”デザインギャラリー”において「日本の空間デザイン展2008」が開催された。同展は大阪デザイン振興プラザ、日本の空間デザイン展2008実行委員会ほかが主催し、日本ディスプレイデザイン協会、日本商環境設計家協会、日本インテリアデザイナー協会、日本サインデザイン協会が事前に行ったコンペの入選作を一般公開する作品展であるが、当該4団体がUSD-O(大阪デザイン団体連合機構)加盟団体であることから、当OISにも誘いがあり、出展・共催の形で初参加、10名が実仕事物件の作品(A1パネル15点)を展示した。



OISのブース

OIS出品作品はいずれも「事游展」への出品以上の力作で、この出展に相応しくパネルアレンジがなされており、その細やかさに教えられるものがあった。コンペの入賞作品も同じ会場内に、個性豊かに展示されており、一挙に見ることができ楽しめた。今回は理事レベルでの出品であったが、このような展示会への参加・共催は貴重な体験、何らかの仕事や勉強、人脈関係につながるものであり、一般会員からも公募し積極的に参加すべきというのが実感である。



OISのブース

同展の一環、観客動員を目的としてUSD-Oフォーラムも同時開催され、OISからは、田原常任理事が「マンション・インテリア今」をテーマに講演された。ビジュアル的でわかりやすく、具体的なマンション現状と実例、実務内容が説明され、実り多い企画であったと感謝している。

(記・森 一芽)



田原常任理事↑と聴講者



12月17日(水)、難波OCATのスーパードライで開かれた忘年会上に、昨年、同じ羽衣国際大学からインテリア設計士に合格した友人達と参加しました。9月27日(土)に行われた、インテリア設計士証書伝達式&入会歓迎会以来でしたが、私達のことをOISの理事・役員の方々がよく覚えてくださり、とても気さくに話しかけてくださったので、前回以上に楽しく過ごすことができました。

この日は「日本の空間展」に付随した講演会と重なった



↑左上ピンクの服が日下くん



関係で、毎年実施されているゲームやイベントは省略されたということですが、その分、諸先輩や理事の方々とは身近なことを話したり、時には専門分野の話や、将来のために役立つ色々な話を聞かせていただく時間が増え、また、ある先輩とは、今度事務所に遊びに行く約束までさせていただき、とてもよかったです。

OISの忘年会は、ただ飲み食いするだけではありませんでしたので、楽しいだけでなく、色々な方と知り合えるとても貴重な機会でした。今後も、こういったイベントには積極的に参加したいと思います。(記・日下 昭宏)



↑山本さん

↑講師の仲田さん

スケッチに目覚めました

—簡単スケッチ講座に参加して—

和風講座の見学会などで訪れる古刹などを、ちょっとの休憩時間にスケッチできれば、さらに楽しくなるだろうという発想で10月31日(金)に行われた「簡単スケッチ講座」に参加しました。

講師の仲田さんの指導と参加者に恵まれ、1つのテーブルを5人が囲み、親近感の中で受講出来たことは、新鮮でした。

また、プロテクニックを学べたことは、OISならではの貴重な学びの場で、さらに終了後、少しアルコール飲料をいただきながらの雑談も、プラスアルファの魅力でした。

早速休日に、スケッチブックと鉛筆を持って矢田の民族博物館へ古民家を描きに行きました。癖になりそうです。(記・山本 哲央)

第23回

陶芸教室に参加して…

毎年、陶芸教室の案内が来るたびに行ってみたいなとは思っていたものの、知ってる人もいないし…と参加を見送ってきたのですが、職場にOIS会員の後輩が入ってきたことをきっかけに一緒に参加することにしました。

10/26(日)あいにくの小雨。10月にしてはとても気温の低い日で、丹文窯にて開催された、陶芸教室の参加者は14名でした。

窯元の方の説明などがあるのかと思いきや、皆さんどんどんと作り始めたので見よう見真似で作陶開始。なかなかうまくいかず、周りの方のやり方を参考にしたりアドバイ



↑河中さん

↑植島さん

スをいただきながら、なんとかそれらしく仕上げることができました。形は割りといい感じにできましたが、かなり大ぶりになってしまった私のピアマグは一体どこまで小さく焼きあがってくれるのか完成が楽しみです。

作陶後はてんぷらや焼きそばなどおいしい食事とお酒を戴きながらの交流会でした。

初めてお会いする方ばかりで最初は緊張していましたが、皆さんが気さくにお話ししてくださったのでとても楽しい時間となりました。

また機会がありましたら参加していきたいと思います。

(記・植島 真由美)



二人の作品



作陶風景

◆大原美術館と有隣荘◆

KIS(京都府インテリア設計士協会)主催



有隣荘の前で

去る10月19日(日)、KIS主催の研修バスツアーに参加しました。私、個人的にはKISバスツアーは3度目でしたが、倉敷は以前から一度行きたかった土地です。大阪からバスは快調に走り正午ごろにはJR倉敷駅あたりに到着。ひとまず一杯やりながら豪華なランチを楽しみました。それから徒歩で目的地へ…。

今回の目的地は大原美術館と有隣荘(大原家旧別邸)。昭和の初頭に地元の実業家である大原孫三郎氏が建てた国内初の私立美術館です。特に有隣荘は特別公開されたもので、美術品は無論、その優美な建築に一行の関心は高まりました。大原美術館内部や庭も散歩しましたが、広大な敷地建物と、多数の貴重な美術品に、当時の大原家の財力と、美術に対する理解と熱意に感動しました。ちなみに付近一帯は倉敷美観地区に指定されており、歴史的保存価値の高い町並みです。

途中、屏風祭と呼ばれる祭みこしを見ながらそのツアーを終えましたが、またいつの日か訪れてみたいと思う一日でした。

(記・朝日 勝彦)



大原美術館

和風講座見学記

南宗寺&江久庵 2008. 11. 9(日)



南宗寺



南宗寺内



江久庵



朝雲庵の中で

南宗寺塔頭の一つ、天慶院には山上宗二の供養塔があった。「一期一会」のルーツは、山上宗二が書いた「山上宗二記」から、のちの幕末の大老、井伊直弼が要約してつくった言葉である。利休の弟子というにとどまらず、大茶人として利休より早くから深三畳床なしの茶室を作ったりしていた。一面では利休に先行することさえある、創意あるわび茶人であった。

天慶院で武野紹鷗好みの祖堂形式「大黒庵」茶室を見た後、出口の脇に、神津朝夫著の「堺衆、山上宗二」があり、購入してわかった。その中に、利休が初めて大阪屋敷に作った深三畳台目の茶室図があり、この図をもとに中村昌生先生が復元した茶室「朝雲庵」が、高級銘築で知られる堺の江久庵に建てられた。これは、点前座を台目畳にし、宗二の茶室図にある二畳半茶室の袖壁を組み合わせたものを利休が創案した台目構えだった。紹鷗の四畳半茶室から、利休、宗二の茶室まで六枚の茶室図が「山上宗二記」に描かれていることが、貴重な資料となっている。
(記・高木 喬)



朝雲庵

閑話休題

ちょっと一息…もやもや解消はお気に入りカフェで！

「貧乏ひまなし」といいますが、景気よくない今日この頃、なにやら落ち着かない日々が続いています。「頑張ってるのになにか上手くないかな。誰も評価してくれない」。そんなことってありませんか？

そういう時はなにをしても上手くないことが続いてしまうんです。だから、ちょっとした魔法が必要なんです。簡単なことです。「頑張ったね」って、自分で自分を誉めてあげるんです。そして少しのご褒美を自分に！

ご褒美はなんでもいいと思います。私のお勧めは『リラックス』です。キタで用事があった時、私がよく寄るのがE-Maビル地下1階の“カフェ&ブックスピブリオテーク”です。



ここはオープンしてだいぶ経ちますが、駅前で気軽に寄れるのが魅力的です。今は混雑もなく、ふらっと寄れて、映画をチェックしたら、時間までオープンカフェでゆっくりグラスを傾けています。ここのカフェは程よく開放的でソファでゆっくりできます。ビル内で冬は暖かく夏は涼しいですし、禁煙喫煙が空間で分かれ気を遣うこともありません。とにかく、圧迫感がなくリラックスできます。

自分の時間を楽しんだ後は、「また、頑張ろう！」って素直に思えますよ。
(記・石渡 由華)



カフェ&ブックス “bibliothèque”

事遊展

開催日：2009年4月10日(金)～12日(日)

場 所：難波市民学習センターアートスペース(0-CAT4階)

見学会(3月中下旬頃)

●千里聖三一教会 ●旧西尾家住宅「吹田文化創造交流館」

任期満了に伴う役員選挙(3月中旬頃)

総会

開催日：2009年4月24日(金)

場 所：難波市民学習センター 第2研修室(0-CAT4階)

※上記に関する詳細は後日案内します。

今後の予定



事遊展(06年3月の会場風景)



千里聖三一教会



旧西尾家茶室